

イマヌエル教報

2020. 2

1947年7月1日第三種郵便物認可 2020年2月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.883

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

以前からしていたように

神の御前に

世界宣教局長 梅田 登志枝



「その屋上の部屋はエルサレムの方角に窓が開いていた。彼は以前からしていたように、日に三度ひざまずき、自分の神の前に祈って感謝を捧げていた。」
（ダニエル書六章10節）

（ダニエル書六章10節）

緊迫の度合いを増す中東情勢に、不安を覚えつつ迎えた新年ですが、すでに一か月を経過しました。各教会では昨年度を振り返り、新年度を展望する教会総会を超えたことでしょうか。教団では来月には年会があり、伝道者は一年の任期を締め括ろうとしています。個人としても立場や環境に変化の多い春を迎えようとしている方々もおられるでしょう。好むと好まざるとにかかわらず、私たちは進みゆかなければなりません。昨日までの勝利やあるいは失敗にも、固執することなく、未来に向かって希望をもって前進したいものです。

*

冒頭の聖句は預言者ダニエルが異教の地バビロンで、どのような逆境に置かれても、その信仰が少しも揺らぐことなく真の神へと向けられていたことを示しています。

彼に対する人々の妬みの罫や燃える炎、そして獅子の牙も、ダニエルの堅固な信仰を崩すことはできません。彼は15歳で宮廷に入ってから、約70年にも亘って四代の異教の王たちに淡々と仕え続けることができた人物です。さらにその王たちに「ダニエルがいつも仕える神」が生ける真の神であると告白させたこと

とは驚くべきことです。

この屈強な信仰のカギは、ダニエルが「以前からしていたように」（新改訳第三版「いつものように」）捧げる祈りによって神との交わりの世界に精通していたことにあります。それは、祖国にいた時も異教のバビロンに来てからも継続されました。様々なタイプの異教の王たちそれぞれに、知恵をもって適切な助言を提供できたのは、神との交わりによって与えられた上よりの知恵に他なりません。

*

教団の責任を託される人々は時の流れとともに変わります。教団の組織は必要な変化を試みながら進みます。各教会は牧師の高齢化や減少などの現実に即した形で、牧師の交代、無牧、兼牧、グループ教会など、様々な状況に柔軟な対応を求められる時代になっていきます。

私たちはこれからも祝福とともに課題や困難、また環境や立場、そして自分自身に起こるあらゆる変化に遭遇することがあるでしょう。けれどもいかなる状況にあっても、途切れることのない神の御前での、信仰と献身の確認は信仰者にとつての命綱です。

諸課題に対する対策は入念かつ慎重に備える必要があります。と同時に「以前からしていた」神との交わりに誠実に生きるといって、この信仰の原則を最大の備えとして、この年も歩むことができたなら何と幸いですでしょうか。

目次

- 以前からしていたように神の御前に…梅田登志枝…1
- 教会総会を越えて、関東新年聖会、年会案内…2
- BTCリトリート、とにキャン・フェス、厚生部…3
- 海外トピックス、国内教会局、読書のひろば…4
- 中部ブロック近況と祈りの課題、燭台…5
- 広げた翼…6～8
- 聖宣神学院報…9～11
- 公報、消息…12

Immanuel

教会総会を越えて、新たな年へ

新しい年に主の恵みを 宣教的教会を日ざして



国内教会局長 岩上祝仁

インマヌエルの各教会では教会総会を越えて新しい歩みが始められたことと思います。昨年一年間を振り返り、主への感謝とともに教会の歩みの中で足りなかったことや今年取り組もうとしている課題などを挙げながら主にある信仰の一步を踏み出されたことでしょうか。キリスト教会は本質的に「宣教的」であり続けることが必要です。私たちの祖国日本は人口の99パーセントがキリストを信じていない人々で溢れかえっています。キリストを信じていない理由が福音を聞いたけれども、信じないという決断をしたというのではなく、福音を聞いたことがないからだとするならば、どんなに悲しいことでしょうか。

「主イエスの宣教大命令」とまだ「福音を聞いたことのない人々」にこそ目を向け、宣教に力を注いで行くべきではありません。いつの時代でも「宣教」こそ、教会の持つ困難を破る突破口となります。

私たちには主から考える力と計画を立てる力が与えられて、それらを用いて教会の働き、宣教の働きを行っています。さらにこの働きが神の働きとして機能して行くためには、祈ることと聖霊の働きが伴うことが必須になってきます。なぜなら救霊の働きは私たちの働きである以上に神の働きだからです。もう一度、この年、教会の霊的な営み、特に祈りを大切にしつつ、救霊の働きに取り組んで参りましょう。個人の名前を挙げて祈りを捧げ、地域や地区の名前を挙げて祈りを捧げましょう。

また、普段の生活の中で自らがキリスト者であることをカミングアウトし続けたいと思います。まづキリスト者であることを周囲の方が知り、私たちの存在を通してキリストが証しされてゆくこと。これが「宣教的」であると言ふことの意味です。私たちが映えなくても、盛らなくても、主は私たちの存在を通して、ご自身の素晴らしさを現してくださるお方です。私たちは、「この宝を土の器に持っている」のですから。祈りつつ、主の最善と救いの働きを期待しながら宣教に励む教会でありキリスト者であり続けましょう。

関東4教区合同新年聖会

講師は岩上祝仁先生

主イエスにお会いしたい 宝である主の臨在

甲府教会 岡 信男

1月13日(月)、関東4教区合同の新年聖会が行われました。穏やかな冬晴れの下、会場の中目黒教会には、みことばの恵みを慕って、大勢が詰め掛けました。

講師は、国内教会局長の岩上祝仁師で、テーマ「主イエスにお会いしたい」に因み、私たちの信仰生活において、現実感をもって体験的に主を捉える必要性が訴えられ、説教が語られました。

午前の聖会は「たましいの救いを得ているから」との題で、聖書箇所はⅠペテロ一章8節以降でした。まず、神によってたましいの救いを得ているキリスト者の特徴として、神のことばに立脚した信仰、神と隣人への愛、聖なる者とされて神の御前に立つ喜びの3つが挙げられました。そのため、たとえキリストを直に見てはいなくても、神のことばにあるいのちを生かされること、また贖いを成し遂げるため、誘惑を戦い抜き、勝利されたキリストの愛を知ること、そして神の御心に従順であること



の必要性が述べられました。

午後の宣教会では、説教に先立ち、帰国中の根廻恵子宣教師より、派遣地ザンビアの報告を聞きまし。ジェンボ・クリニックでの医療活動を通してキリストの愛を伝える働きが紹介され、祈りの要請がなされました。

説教は「宝を持っていますか」と題して、Ⅱコリント四章が開かれました。私たち相応しくない土の器に、神は宝を入れてくださり、私たちの内なる人が日々刷新されていることが語られました。土の器の使命は、存在自体を通してキリストの素晴らしさを現すことにあり、私たちにキリストを伝えた人がいたように、私たちも宝を運ぶかのごとく、次の人にキリストを伝えるために、自らを主の御手に委ねようと招きがなされました。

当日は成人の日でもあり、出席した新成人のために、祝福の祈りの時も持たれました。

総務局から……

2020年3月25～27日
ファミリー年会を開催
第75次年会のご案内
日程とプログラム

総務局長 寺村秀嗣

- 3月25日(水)～27日(金)、聖宣神学院を会場に年会を開催いたします。
- 年会の前日24日から25日午前まで、スタッフトレーニングキャンプが開催されます。年会準備にもご協力ください。
- 25日夜～26日午後の聖会時まで「とにキャンフェスティバル」が開催されます。26日の聖会には安藤理恵子師(玉川聖学院長)を迎え、世代を超えてメッセージを共有いたします。同日は並行して教会学校プログラムも行います。
- 25日の聖会1では献児式と卒業生あいさつがあります。
- 研修会の前半は各教会で認知症の理解を深めるDVD資料利用ガイダンス。後半は、神学委員会による論集「聖書論」(下)の学び。
- 議事会では昨年度報告と新年度方針・条例改正案発表があります。
- 各種参加申込書はすでに発送されました。各教会から2月18日日本必着で、お申し込みください。
- 年会資料を3月初めまでに送付いたしますので、先生方は事前に目を通してご出席ください。

BTCリトリート報告

主の召しに応じて～
献身・召命・職業選択

千葉教会 池田光重

今回のBTCリトリートは年末大晦日の12月31日が最終日となり、31日の朝食には食堂スタッフの方々による「おせち料理」もふるまわれ、一日早いお正月気分を味わうことができました。

テーマは「主の召しに応じて、献身、召命、職業選択」ということで2回の聖会は教団代表内山勝先生がご当務されました。

1夜目はマルコ一〇章からバルティマイの記事を通して「イエスについて行く」という題で語っていただき、第2夜目はマルコ五章から悪霊に憑かれたゲラサ人の癒しから「イエスを証しする」という題で語っていただきました。

聖会の証し人は、1夜目は神学院学務課で奉仕されている馬場満子姉でした。主の召命にどのよう

に「た」と証しされましたが、勝先生ともども、主に真実に仕えて来られたことが伝わってきました。

リトリート2日目は「生BTC半日体験」ということで早大チャペル、体験授業が行われ、参加者一同神学生気分？を味わうことになりました。以前に聞き及んでいた昔の修道院的な神学院ではなく、明るく自由な、それでいて神さまの臨在を深く感じる体験が出来ました。イエス様が一人ひとりを大事になさったように、今の神学院も学生一人ひとりを大切に

し、信徒一人ひとりに深く寄り添い大切に牧師として用いられるのだらうと思われました。最終日閉会礼拝では参加者一人ひとりがリトリートの恵みをお証ししました。さらに伝道者としての召命を受け各コースに進まれる方が興されますよう祈ります。



3月25～26日にベテルハウスで
年会の中で開催する
「とにキャン・フェスティバル」



仙台教会 細田恒太郎

1月の教報で案内がだされましたように、今年も年會期間中に「とにキャン・フェスティバル」が開催されます。ここしばらく年會は平日での開催であったため、若い人たちが年會に参加することは難しかったのですが、今年も春休み

の期間にベテルハウスを備えた神学院を会場に行われるため、年會時に「とにキャン・フェスティバル」を開催する運びとなりました。夏に持たれるとにキャンだけでなく、その間に青年たちの交わりや励ましの場が持てないかと、ここ数年、関西、関東、東北と各地域で「とにキャン・フェスティバル」が開催されてきましたが、今回は大阪からもシャトルバスを出したり、遠方からの参加者に交通費の支援をしたりと、夏のとにキャンと同じような全国的な交わりが持たれるようにと期待しています。同時に、26日の昼食、午後

の聖会は、神の家族としての一体性のすばらしさを体験できるように、年代を越えて時間を共有することになっていきます。そのため、現在屋食の持ち方や、集会の内容など信徒局と連携しながら準備を進めています。神学院で年會を持つことも久しぶりのことですし、そこに宿泊を伴った青年大会を入れることも初めてのことで、いろいろ手探りの部分が多くありますが、祈りのうちに御業を現わしてくださる主が私たちの計画を越えて一人ひとりに語り掛けを与え、信仰の成長と愛の交わり備えてくださることを期待しています。準備が守られるよう覚えてお祈り頂ければ感謝です。

26日、青年と牧師の合同の聖会は、昨年、夏の「とにキャン」で素晴らしいご奉仕をしてくださった玉川聖学院院長の安藤理恵子師がご用をしてくださいます。「とにキャン・フェスティバル」全体のテーマは「One Team、主にあつてひとつ」です。

1月の末には、各教会にチラシや申込書が届くことになっていきますので、プログラムの流れなどはそちらをご確認ください。また、教会の青年方を励まして集会にお送り頂ければ感謝です。

さらに、年會に参加する牧師子弟の幼小学年の子どもたちのためには、教会学校課の方で楽しい特別プログラムが準備されています。この年會期間中、子弟同士の交わりもまた思い出に残る素晴らしい経験になることでしょう。今年度の年會の祝福のためお祈りください。

台風19号による被災

キングスガーデンの
そのごの様子を
お知らせします

厚生部長 北田直人

●避難

台風19号で川の堤防が決壊し、特養「川越キングス・ガーデン」、ケアハウス「主の園」が水に浸かり、一時孤立状態になりました。その後、施設利用者や職員全員が無事避難することができました。

施設を利用しておられる5名の先生方は、周辺の施設や親族のもとに避難され、元気に過しておられます。

●復旧の見通し

水没した特養は、別の場所に建て直すことになりました。その間、県が建設する市内の仮設住宅に移る予定です。

1階が浸水したケアハウスの復旧工事はかなり進んでいます。またスプリンクラーの誤動作により消火剤放出の被害を受けた部屋の復旧工事も進められ、当初4月いっぱいかかる予定でしたが、2月末には終わる見込みです。

避難中の先生方の健康のため、またケアハウスの復旧工事、特養の仮設住宅建設や建て替え工事のために祈りください。

(ネヘミヤ1・5〜8)

国内教会局から

教会建設の務めに
信仰を繋げよう



今年の年会はファミリア年会。目的はただ一つ、信仰を繋げることです。イムマヌエル全体でそのことを意識し、その働きの大切さを確認しましょう。神の民の使命の一つは信仰者の育成です。シエマと言われる

教えがあります。申命記第六章4〜7節です。シエマは「聞きなさいイスラエルよ」です。そして律法の一番大切な教えが語られた後、7節で子どもたちに教え込みなさいと命じています。キリスト教教育の根柢として取り上げられる聖句です。全国教会でCSや青年集

Sや青年の働きを止める訳にはいきません。子どもたちに信仰を伝える使命を家庭と教会は委ねられています。その結実の大きさを信じて取り組みましょう。将来の希望を主にあって信じましょう。私たちが主から託された信仰者の育成の務めに真剣に向き合い、私たちから次の時代に信仰を繋げましょう。(岩上祝仁)

■スイスの小学校でクリスマス・キャロル斉唱一部取りやめ
スイス北東部の小学校が、クリスマス・イベントで歌う歌のリストから、クリスマス・キャロル3曲を削除した。「他の文化に配慮する」のが理由としている。
電子メディア『スイス・インフォ』によると、ザンクト・ガレン州ヴィールのマツト小学校で12月20日に予定されていたクリスマス・イベントで「世界に告げよ」など3曲がリストから削除された。いずれもイエス・キリストの誕生を歌ったものだ。他の文化や宗教に配慮するという理由。イスラム教徒の親から反対の声があり、また特定の宗教に所属していない人からも同じような意見が寄せられたという。ザンクト・ガレン州ヴィールはカリン・ケラー・ズッター司法相の地元、人口約2万4千人で、うち29%は外国人。リユースリ教育委員会委員長は、「きよしこの夜」などほかの

クリスマス・キャロルは歌うとし、学校はキリスト教の価値観を守っている、と述べた。
スイスでは、国レベルの政教分離は1848年に始まった。しかし、両者の関係を正確に定義する役割は、各州にゆだねられている。「宗教を取り巻く状況は多様化し、無宗教の人が増えている。そういう人たちが、学校のクリスマス・イベントでどの宗教歌を歌った方がいいのか、自分に問いかけるのだ」



海外トピックス

と政治学者ローラ・ロツツ氏。
■正教徒が1月7日に降誕祭祝つ
1月7日、世界各地の正教徒はキリスト降誕を祝っている。降誕祭は、深夜に行われる教会の祭典奉神礼(礼拝)の中で祝われる。ロシアのスポーツニク通信が紹介。
イエス・ハリストス(イエス・キリスト)の降誕はキリスト教徒にとって全人類の歴史上、中心的な出来事と考えられている。
モスクワおよびロシア総主教のキリル一世は当夜、伝統に従い、ロシア国内「総本山」とされているモスクワ総主教直轄の首座聖堂救世主ハリストス大聖堂で降誕奉神礼を行った。同大聖堂には数千人の信者が集まった。
ウラジーミル・プーチン大統領は2年連続して、降誕祭をサンクトペテルブルクで迎え、今年はスパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂(救世主顕栄大聖堂)の奉神礼に参加した。(平瀬聡樹)

読書の

ひろば



eラーニングのご案内
クリスマスチャンセミナー

「霊的観点から
みる境界線」

講師 中村佐知

今回のeラーニングは中村佐知さん(翻訳者、プリンストン大学心理学科博士課程修了)を講師にお迎えして、「境界線」について学びます。

中村さんが翻訳された「境界線」は世界的なベストセラーになっていますが、境界線に関する誤解も少なくありません。本講座では、そのさまざまな誤解を解きつつ、牧会や教会生活、夫婦間、子育て、

仕事と、いかに広範囲にわたって、境界線が私たちに関わる大切なものであるか、その本質に迫ることを目指します。

また「境界線」をライフスキルや生活改善のツールとしてではなく、「霊的形成」の観点から、私たちが「キリストに似た者」「神のかたちに造られた者」という本来の姿に形造られていくときに回復され、発達していくものとみなして考察していきます。

その一環として、聖霊に働いていただきやすくなるような「霊的修練」も、毎週ご紹介いたします。

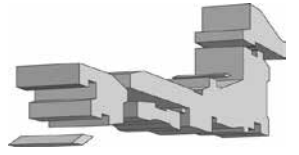
前期では、まず「境界線の10の法則」について学び、後期では受講生からの質問も取り上げ、より実践的な「境界線」をみる学びを展開いたします。講座に用意されたフォームから、匿名で講師に質問が可能。受講期間終了後も、動画や講座のコンテンツを閲覧できます。少し遅れての履修も可能。

牧師、神学生、信徒伝道者で受講費補助を希望の場合は、教育局へ申請してください。講座は、2月12日から開講。前期4週、後期4週に分かれています(受講費はそれぞれ4千円)。noteというWebサービスを使って、動画を観ながらマイペースで学びを進めることができます。

詳しくは教会へ配布されたチラシやHPをご覧ください。
http://grace-online.jp/
お問い合わせは…大津まで
immanuel.ebooks@gmail.com



国内教会局 スクエア



中部ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー

葛田崇志

は至っておりません。尊いお祈り、ご支援を賜り主にあって感謝申し上げます。

◆静岡教区
 昨年は1月17日に役員研修会を開催致しました。伝道者・信徒方合わせて40名近くの参加者が与えられました。教区青年大会は7月15日に開催され、祝福を得ました。また梅田登志枝師をお迎えして、第18回静岡聖会を「聖潔と宣教、死といのちのパラドクス」と題して10月14日に開催致しました。

津シオン教会)をお迎えしました。教区内各教会が比較的近接しております。地元の利を生かして、同教区では盛んに交歓講壇を実施しております。説教者だけでなく信徒の方々も数名伴っての教区内の交わりが祝われています。

各教会も善戦を続けておられます。清水教会は伝道サポートシステムを活用されて、教会創立60周年を伝道の好機と捉え特伝を重ねました。一方金谷教会は渡辺芳子先生の退職(6月30日)に伴い、教区内で協力をしつつ教会の営みを継続しております。クリスマス

の時期には津村貴美子先生が教会に宿泊してくださいました。沼津教会と沼津シオン教会の手続きは全て終了致しました。旧会堂も新たな形で用いられていることに御名を崇めます。静岡教会は、小島

◆北越教区
 この冬も日本の空は雷(ブリ起こし)がけたたましく轟いていきます。これが鳴ると雪やあられになると言われていますが、今のところ隣れみによって著しい積雪には至っておりません。尊いお祈り、ご支援を賜り主にあって感謝申し上げます。

◆中京教区
 昨年は9月15から16日にかけて中京聖会を開催、荻野倍弘師(沼

津シオン教会)をお迎えしました。教区内各教会が比較的近接しております。地元の利を生かして、同教区では盛んに交歓講壇を実施しております。説教者だけでなく信徒の方々も数名伴っての教区内の交わりが祝われています。

は至っておりません。尊いお祈り、ご支援を賜り主にあって感謝申し上げます。

45回目を数える北越聖会は、会場を2つに分けて3回目になります。新潟地区では9月23日長岡教会を会場に、佐藤信行師をお迎えして開催、北陸地区は金沢教会を会場に10月22日、岩上祝仁師をお迎えしました。開催会場や日時異なるものの、極力「ひとつの聖会」としての意識を保ちながら守っております。

◆長岡教会の勝間田嶋子先生を7月13日に天にお送り致しました(101歳で御召天)。ご遺族一同の上にも、また長岡教会に天来のお慰めがありますようお願いください。金沢教会は今年創設70周年を迎えました。節目の時、神さまの栄光が表されるようお祈りください。今年度の教区会では、本部から

◆中部ブロックでは11月16日神学院後援会の世話人会を献堂間もな

い名古屋教会を会場に開催致しました。神学院の必要のため、また献身者の興起のために祈る時を持ちました。主が豊かに祈りにお応えくださることを期待致します。



「土を掘る力はない」けれど

◆昨年9月のある日、伝道のためと考えて、町内会主催の「介護体操と折り紙の会」に参加しました。このような高齢者対象の会への参加は初めてです。町内は広いので、集まった30余名のうち、顔見知りも数名です。脳トレの一環だったのでしょうか、折り紙の時間になって講師の説明が終わり、自分たちで折る番になると、「どうやるの? 教えて」と初対面の高齢の方が私に話しかけて来るではありませんか。驚くと同時に折り紙は苦手なので戸惑いましたがなんとかみんなで仲良く折り上げました◆会の終わりには、「百歳体操」に関する案内のチラシが配布されました。百歳になっても手足が動いて元気で暮らせるようにと、高知で始まった、椅子に座って行う体操のようです。郡山市はそれを推進しており、毎週1回、30分、3人集まればどこでも始めることが出来、市の指導もあるとのこととです。歩いて通える近所に拠点があるのが大切なのだそうです◆そのころ私共は、定期集会のほかに、一般の方々が来会しやすくなる地域に仕える、もう少し緩い何かを教会でできないだろうかと思案中でした。けれども私共には「土を掘る力」はなく、教会の現状も厳しく名案はありません。しかし、この体操なら、教会の別館を開放すればよく、人数も私共が参加するだけで2名は確保できます。教会員の中からあと1名が重荷を担ってくだされば実現可能ではありません。事前の特別な準備も要らず、ただビデオ機器さえあればいいのです◆相談の結果、時間は、毎週水曜の、求道者を対象とした「女性の聖書の学びと讃美の集い」の後の、11時からとしました◆わずか30枚の案内チラシを戸別配布しただけで、10月の開始日には町内から3名が、初めて教会に入ってくられたのです。驚いたことに全員、あの折り紙の班にいた方々で、しかも2名はその後一度だけでしたが、クリスマスの集いに参加されました◆3か月を経た現在、その方々は忠実に体操を継続し、そこに教会員も加わって毎回10名前後の集まりとなっています。この先、どのように導かれるかはわかりませんが、地域の方々が「たましいが幸いを得ているように……すべての点で幸いを得、また健康であるように」と祈りつつ苦闘しています。

(久保以津子)

巻頭言

全世界に宣べ伝えられる福音



世界宣教局
梅田 昇

「御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます」(マタイ二四章14節)



広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

国の内外に課題の山積した2020年を迎えて1か月が経過しました。東京オリンピック、パラリンピックの年ですが、地道に福音を伝え、教会建設の営みを前進させていきたいものです。主キリストは、ご自分の死を前にして、世の終わりの前兆について話されました。世の終わりの前に、偽キリストが現れ、戦争が起こり、飢饉や地震が起こるといいます。信者に対する迫害があり、裏切り、憎しみが起こるといいます。そして最後の前兆として、福音が全世界に宣べ伝えられ、すべての民族に福音が証しされて終わりが来るといいます。残念ながら、すべての人が救われると約束されていません。万人

救済説という考えもありますが、すべての人々が救われることは聖書に約束されていません。

教会と信者、宣教師の使命は福音を宣べ伝えることです。時が良くても、悪くても、またあらゆる手段を用いて福音を宣べ伝えることができます。ユダヤ人にはユダヤ人のように福音を宣べ伝える必要があり、時代と共に宣教の方法は異なることでしょう。宣教の方策自体に重点を置くのではなく、神様を信頼して、福音を伝えて行く必要があると言えましょう。福音を伝える中で、福音に応答する方が興されてきます。明確な悔い改めと信仰に、洗礼に導き、教会の忠実な信者、奉仕者として成長して頂くことを目指します。宣教の結実が教会建設にプラスとなるような宣教を目指すべきでしょう。

ウエスレーは教会のないところに福音を宣べ伝えたいように勧告しました。福音を聞き、救われた人は、霊的な家族である教会の中で養われ、成長し、主の証人として整えられていくのです。キリスト教会は、福音を宣べ伝える主体であり、福音を受け入れた方々を養い、育む母体でもあります。福音が全世界に宣べ伝えられ、ひとりの人が救われることを真実に祈りながら、信仰生活、教会生活を送らせて頂きたいものです。



CAMBODIA

カンボジア

蔦田緑乃*2020年1月2日

「あなた方もわたしの軛を負ってわたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。」(マタイ11章29節)

昨年末から本格的に新宣教師館を根拠地として働きを開始しました。が外に向けては牧師の霊的一致のために「牧師の牧者」としての働きに焦点を絞り、各地の教会を巡回する傍ら、プノンペン市内の2つの開拓教会の働きに協力しているうちに瞬く間に2か月が過ぎ去ろうとしています。

12月中に2か所の訪問しか許されない状況の中、2回とも途中で車の故障により危うく予定していた集会などできなくなるのでは、と祈られました。しかし、主は確かに生きておられることを証ししてくださり、助け手を与えて乗り越えられたことは運転と通訳に同行されたグレッグ宣教師やヴァンディ師にとり信仰の良き学びの時として感謝します。



12月はプノンペン市内の2つの教会での集会、特にヴァンディ師の開拓中の教会では新拠点での最初のクリスマス伝道礼拝を企画。近隣の家々を金曜日の夜訪問して皆さんにご招待の声をかけして備えました。主がそれぞれの住人の心を開いて出席くださり、期待以上の成果を見ましたが、祈ることはその後の刈入れのための御霊のお働きです。祝福の前兆としてサタンも妨げも次々とあり、祈らせられましたが、全ての妨げに主は勝利を与えて下さいました。詳細は紙面が足りませんので省略致しますが、全ては背後の皆様のお祈りの答えであるとしが言えない勝利です。栄光は唯主に帰し、今年も冒頭の聖句に励まされ、主と共に軛を担う日々を祈りつつ。■



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2020年1月7日

新しい年を迎えました。台湾では、年明け早々、今後を決める大切な総統選挙を迎えようとしています。(11日同日投票) 今回も日本の国会議員に相当する立法委員の半数改選の同時選挙が実施されます。これまでの総統選と大きく異なる点は、大規模な選挙活動大々的な候補者の街頭演説、行軍がほとんど見られないということです。TVなどを見ると、確かに各地の集会所や党本部などでは、支援者の集会が開かれ、活発な選挙戦線が展開されてはいるのですが、いつもの町中を縦横無尽に駆け回る形での選挙活動がありません。SNSなどの普及に伴い、選挙公報のアプローチそのものが大きく様変わりしたよう、期日が迫る中、肅々と、水面下でしのごを削っているという何とも不思議な状況です。平和裡に選挙が実施され、民意を具現化するリーダーが選出されますよう、台湾の将来を覚えて祈ること切です。

私共のクリスマス特集は、毎年第2週の台南を皮切りにスタートします。今年は、スタッフの強い要望により台南日本語礼拝でも「キャンドル・サービス」を守る事が許されました。日本語の礼拝を毎週、持ち続けることは決して容易なことではない中、一人また一人とその働きに賛同し、なし得るベストを尽くして奉仕してくださる兄弟が加えられ続けています。年末には、こちらも初めての形態でしたが、外注のケータリングサービスを利用しての「年末感謝お食事会」を持ち、日本語礼拝のメンバーはもとより、その家族や友人、知人も交えての幸いな交わりの時が与えられました。

台中教会では、15日午後「クリスマス礼拝」、22日は「クリスマス礼拝」、礼拝後に大清掃と会場準備、直前打ち合わせと最終練習、24日の夕に「キャンドルサービス」を守りました。今年は学校の日程との兼ね合いで第四土曜日に「ジョイジョイクラブ」が開催できなかったこともあり、戦いでしたが、これもクリスマスには、教会の兄弟の関係者、知人だけでなく、HPなどで情報を得た方々が集われました。

の奏楽と役割分担をみんなで担い合って、クリスマスの恵みを一人でも多くの人にお分かちしたいと仕えました。15日の集会に初めて来会されたご家族が24日にも続けて来会され、また15日には来れなかったご家族を24日の集会にお迎えすることができました。「水をくんだしもべたちは知っていた」とのみことばのように、仕える恵みを共有する時となりました。

年明け、元旦は、台湾でも一日だけ休日となるため、「元旦家拝」を守っていますが、今年は、事前の確認で、出席予定者が礼拝とほぼ同数であることがわかり、祈禱会の形態では席が足りなくなるので、通常の礼拝の形態で集会を守ることができました。これは今までになかった恵みで、牧師夫妻、だけの家拝が、家族になり、少しずつ兄弟が加わられ、礼拝の形態となりました。「ただ、おことばをいだけさせてください。」と主の前に出た百人隊長の信仰のように、私たちが個人的に、新年のみことばを与えられることの大切さ、その意味と意義を心に留めました。

昨年、新しいことをなさった主が、何もないところから私たちがこの場所に導いて下さり、更にこの年、主のみわざを推し進めようとしていて下さいます。背後のお祈りを感謝します。年末年始に届いたカードやレターを拝見しつつ、覚えられ、祈られている者の幸いを実感しています。引き続き、お祈り下さい。心よりの感謝と共に。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2019年12月30日

聖書大学では月に1回学生たちを4人から5人に分け、カウンセリンググループをもっています。常喜と恭子はそれぞれ男子と女子のグループを今学期を通して担当しました。今月は、今学期最後の集まりでしたので、カレライスをこ馳走したところ、みんな喜んで食べ、鍋に少し残ったカレーも男子学生が持って帰りました。とても賑やかな一時となりました。

ウェスレアン聖書大学の学生17名が洗礼を受けました。常喜は洗礼を授ける役を仰せつかり、17名の名前をA4の紙にそれぞれ大きく印刷し、名前の読み方を確認し、備えました。当日は天候に恵まれ、車で30分ほど走らせたところにある川で洗礼式を執り行いました。1人抵抗して頭を沈めようとしていない学生がいたので、力づくで頭を沈めてあげました。一人ひとり、神の子どもとして従い続け、成長して行くことができるように、協



力して行くことができるように祈りました。今月は、学校のプロモーションで2つの教会を訪問しました。サンフェルナンド教会は10年前に訪問したことのある教会でした。その時は1階建てで未完成でしたが、今回は1階の間取りが増え、さらに2階建てで会堂も2階にありました。礼拝出席者も10年前に比べて倍以上増えています。サンタローサ教会は、立ち寄ることがありましたが、今回初めて訪問し奉仕をすることができました。以前は、教会の前にパイヤの樹が林立していたのが、今は駐車場スペースとグループで集まれる小屋(クボ)が2つ建てられ、そこで子どもたちの集会がもたれていました。2つの伝道所も開設され、毎週小集会が開かれていることでした。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香 * 2020年1月6日

ザンビアは現在雨季の期間で確かに見えるところ一面が緑ですが地面は乾燥しているのが見られま...



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子 * 2019年12月26日

私の通っている教会では牧師の交代がありました。心一つになつて進んでいる様子が御名を崇め感謝しています...

寒いクリスマスシーズンが久しぶりに感じながら過ごさせていただいています。寒さに弱くので防寒に苦しみながらの日々ですが...

会計報告12月分
宣教献金 三、五七八、七六四円
月平均 一、八七二、八八八円
お祈りの課題
ケニア(鳥田就子)
主任、副主任復帰の感謝
国内外の医師免許の更新が無事に終了するように
麻酔科、整形外科を始めとする働き人(ルカー○章2節)が起されるように
台湾(平瀬)
クリスマスと年頭の諸集會に來会された方々を、続けて教會にお迎えてきますように
台中教會と台南日本語礼拝を通して、明確な救いの恵みに与る方が起こされますように
子どもたちの将来の導きと進路のために(明里は、進路が決まり、4月の入学に備えています。勝大は1~2月が、高校受験です)
台湾の政治や経済、治安の安定のために。総統選挙後の新体制下の歩み出しのために
フィリピン(豊田)
新学期が始まった学生たちがサタンからの誘惑、攻撃から守られますように
神学教育の働きのために。歴史書を教えます
事故、事件、怪我、過ち、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのために
カンボジア(鳥田緑乃)
開始された新拠点地での開拓伝道に救霊の御業が進められるように

伝道者の士気が弱ることにより霊的一致がゆるがされぬように、御霊のご臨在が確かであり続けるように
伝道者の霊的成長と一致の確立のために地方に散在する諸教會の巡回旅行のみ守りと、特に車の故障の重なる問題の解決のため
香港(鹿島)
1月26日の第10回となる教會總會のために。またその感謝
牧師の健康回復と瓜州への出入りのため
香港の社会秩序の回復のため
ザンビア(富澤)
ザンビア人の生活、日々の食事がとれるように。十分な雨が降るように
主の証しとしてクリニックが歩んで行けるように
健康管理と霊の営みが支えられるように
ザンビア(根廻)
日本滞在が祝福されていることを感謝
祖母の召天の感謝
グローバルユースミニストリー(鳥田康毅・由理)
1月に受洗された方々の信仰の健全な成長のために
4月から新体制に入るGYMの働きと、責任者の安達代表のために
ディアスポラ宣教に繋がる親子プログラム(会場II深川教會)の祝福のために

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

あつたんだよ

院長 ● 河村 從彦

「さわったもの」

(第一ヨハネ一・一)

年の瀬になると友好団体の先生も含めた有志の先生方が、多忙の中駆けつけてきます。いっしょにやろうと申し出てくださった方ばかり、その熱い思いに支えられているのがBTCリトリートです。

教団内外の聖会、どれと比べてもどこが違う。著名な講師を呼ぶわけでもなく、プログラムは毎年ほぼ同じ、人数もそこそこ。ガンバリ感・やらせ感もありません。

証しがあり、説教でも証しが語られます。神学で聞くパターンにはまっています。霊の高みとか、

信徒より一段上になったとかいうこともありません。全部献げて信徒になる方もあり、今年信徒の献身の証しを伺いました。

イエスさまに出会うと、突然用語が変わります。神学用語は陰を潜め、その人しか語れないボキャブラリーが並びます。成功談よりは、挫折、罪、なげなさが自然に共有され、恵みが香り始めます。

神学するとは「あつたんだよ」が教えられた神学で説明できるかを問うことです。神学のパターンに自分を合わせる信仰から、みことばを問う信仰になります。

神学院に牧会演習というクラス

があります。牧会事例検討というイメージがありますが、違います。何に失敗したのか、その時の自分は何だったのか。つまり「あつたんだよ」を論じる恵みの時です。牧会しながら少しずつ教えていただきます。説教は確信がないほうがシャープになる。体験的裏付けが希薄だったとき、大きな声で聖と宣を語っていました。裸の王様であったことも知らずに。信徒の皆さまは、教えられた神学を聞きたいのではなく、そのようなものは本を読めばわかります。みことばが文脈にそって解き明かされた上で、「先生。あなたにとってそれはどういう意味ですか。どういう体験が背後にあるのですか。それは教会が共有できる体験なのですか」。それを聞きたいのではないかと意識しました。「あつたんだよ」は興味が湧きます。



冬の朝、神学院本館玄関

神学エッセー

青年宣教への取り組み

① 青年伝道会議の開催



葛田聡毅

ことができるか、という信仰継承の問題。もう一つは教会の外にいる若者に、どうやって福音を有効に伝えるか、という青年宣教の問題です。しかしこの二つは別問題ではなく、互いに深い相関関係をもっていると考えなければなりません。

神学院の授業では、キリスト教教育の分野で「青年」というクラスを担当しています。しかし、学びの大前提となる「青年とは」という定義は難しく、それを考える作業から入る事になります。けれども教室で理論を学び終えて、青年について習得しました、という学課ではなく、少なくとも青年宣教に関心をもち、恐れる事なく青年と向き合い、違和感なく現場に入る準備クラスにと願っています。多くの教団が主要な課題として取り組んでいるのは、呼称は色々ですが「次世代プロジェクト」です。JEAでも大きな活動の柱となっています。それは今までの営みが、その点で不十分だったと真摯に認めなければならぬことも意味します。さらに現在危機的な状況であることも正直に受け止め、謙って主を仰ぐことが必要です。そのプロジェクトには、大きく分けて二つの方向性があります。一つは今教会にいる若者や子ども達が、活き活きと信仰を継承する

JEAが主催する日本伝道会議では、札幌大会の時に青年宣教のプロジェクトが同時進行的に別室で企画され、先回の神戸でも引き継がれました。すつと青山を画期的な出発点として、青年委員会主催の青年伝道会議（NSD）が開催され、18年11月にNSD II開催へと繋がりました。NSD IIのテーマは「神の国マインドに生きる」で、普段は損理的に教団・教派・宣教団体等に分かれて各々の働きに携わっているものの、一つの同じ神の国に所属する意識を、強く共有してゆこうというものでした。

17年1月には各教団・教会の青年担当者会合、18年1月には青年宣教に特化した働きをもつ宣教団体の会合を持ち、二つの会合の結果としてNSD IIの一日目が用いられました。ともすると難しい緊張関係が存在した教会と宣教団体の間に、新しい交わりと協力が具現化され始めています。学生伝道のような宣教団体のない若い社会人のニーズを受け、昨年7月に開催されたNSD ナイトは、今夏も開催されます。今年に入って1月20日には再び各教団と各宣教団体が集まるNSD サミットが開催されましたが、その内容は次回に。

◆卒業を前にして

主の力により頼むこと

正規コース 秋田郁美

「強く、雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。神である主の神が、あなたとともにいてくださるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、主の宮の奉仕に関わるすべての仕事を完成させてくださる。」

(一歴代誌二八・20)

年も改まり、3月には卒業となります。いよいよ牧師として教会に遣わされることが、信じられないような思いです。私の人生にわたっての新しい幕開けを迎えるにあたって、足がすくみそうになる今、改めて冒頭の召命のみことばをかみしめています。

私たちが恐れるのは、主が共にいてくださるということをお忘れの時だと思えます。そして、自分の力で何かをしようとするので不安になるのです。特に牧師の仕事は自分が努力して成し遂げられる仕事ではありません。ですから、これからも自分の力ではなく、主の力により頼むことが必要です。ところが、それが難しいことなのだと思えます。聖書日課で、年末は

歴代誌を読んでいた。南ユダの歴代の王たちの多くが、主により頼まないで、偶像崇拜をして失敗しました。自分の力により頼むことこそ、偶像崇拜ではないでしょうか。主はそれを最も嫌われます。だから、伝道者は自分を捨て、主に従いなさい、と言われていたのだと思います。

4月からインターンとして奉仕しています。クリスマス諸教会も祝福のうちに終えることができました。自分の力ではできないことでした。主がさせてくださいました。これからも、自分の力に頼ることなく、主の力に全面的に頼ることを決して忘れないようにします。これまで祈りくださった多くの方々、ご指導くださった先生方に心より感謝いたします。

◆卒業を前にして

恥も役立つ

修了者コース 中尾敬一

「あつという間ですよ。」入学審査の面接官からそう言われて、二年。特にインターンの一年は光の速さで過ぎ去っています。精一杯、毎週のタスクを行っています。主に日に皆さんをお見送りし終わると、体がふわふわ浮いているような、



夕刻の本館 十字架を仰ぐ

集会を終えた現実を信じられないような感覚になります。

教会総会に向けて初めて総会資料を作成しました。クリスマスチャン団体でしか働いたことがありませんでしたので、総会といえは教会総会しか知りません。要するに世間知らずです。過去の資料やインターネットで調べたりしながら取り組みました。幹事会で資料を見ていただきましたところ、ご配慮のこもった言い方ではありましたが、要約すると「こういう書き方をすると意味が変わってきます。これは資格のある人が言えることです」などといった指摘をいただきました。世間知らずがバレバレです。しかし、インターン生だから言ってもらえたのかもしいないと感じました。総会のような外部への証しは、教会のみなまになるべくお任せしたほうがいいのかと学びました。牧師が主導するとヘンテコなソウカイが出来上がってしまうかもしれません。そんな経験しながら、今年も教会のためにたくさん恥をかきながら、

たいと思っています。主が牧師の数を減らしてやってみようとおっしゃるのですから、この機にコペルニクスの発想の転換が起こってくるのだろうかと考えています。

卒業まで2か月となりました。世間知らずでは困られてしまいます。世界のパラダイムが転換し、過渡期をそろそろ抜けようとしている時です。言い訳はできないと言いつつ聞かせながら、御言葉の学びに力を入れていきます。

◆信徒地区講座を受講して

リーダーシップ再考の時

名古屋教会 増田聖香

今回信徒研修会で、伝道と、奉仕でのリーダーシップについて学びました。

伝道について、伝えたいメッセージがどれだけ相手に伝わるかは、伝え手と受け手の間のギャップをいかに少なくできるかにかかっていると知りました。そこから、イエス様がこの地上に人と

て来たということは、ギャップを0にしてくれたんだという、イエス様の愛も知ることができました。「神から愛されたように、隣人を愛する」ということは、いかに相手の立場に立つことができるか、そして愛の言葉を語ることができるとかだと思えました。教会で語られるメッセージはもしかしたら、未信者には届きにくいクリスマスチャン用語が使われているかもしれない。そこで信徒がすべきは、未信者の方が分からないことがないか配慮すること、また何を求めて教会に来たのかを語ってもらうことなのではないかと思えます。伝道という話することは思い浮かべてしましますが、そのような受け入れる姿勢から伝道が始まるんだなと思えました。

また、リーダーシップについては6人の指揮者のムービーから、様々なリーダーシップの形を見ました。自分自身が一番楽しむ人、全てを指示する人、指揮者の権威で支配する人、表情で思いを伝える人……などです。最初はこのリーダーシップは嫌な感じがするなどありましたが、参加者でディスカッションするうちに、どのリーダーシップも間違いはなく、場面場面が必要なものであると思えました。神様自身も様々なリーダーシップを用いて民を率いました。その時々合ったリーダーシップを取ることができるよう、神様に知恵を与えていただく必要があると分かりました。

私の神学生時代 私の救いと神学院 21期生●竹井治子



私は高校生の頃、沸々と自分の心から沸き起こる罪、そして絶えず人と人との間の争いに悩んでいた。この得体の知れない罪というものを生涯抱えて生きていかなくはならないのか！この罪の解決はどこにあるのか！と問い続けた。もし神というお方がおられるのなら、もし人を創られた神が存在するのなら、この、人を狂わせている暴れ馬に対して、解決を示して下さるに違いない。神が本当におられるなら、人間にわかるメッセージを残しておられるはずだ。もしそれが無いなら、人は好き勝手に暴れ、死んでいくだけの生き物に過ぎない、と考えていた。その時すでに東京で教会に通い始めていた姉から「これは神の言葉、聖書です。」と渡された時、むさぼるようにしてこの聖書を読み始めた。しかしこれを読み始めてくれる人がいないなら、どうして私は正しく知り得よう。この聖書が本当に神の言葉であるなら、必ず罪の解決は書かれてあるはずだ。

私は非常に飢え渴き、住んでいた長野から東京の教会に毎週許される限り通った。そしてイエス様のなして下さった十字架の事を知った時、驚きと感謝をもって一目散に何のためらいもなく主の懐に飛び込んだ。私は今まで人間として生きていて、一番知らなくてはならない重大事を何も知らずに生きていた。もうここに神は人間の罪を解決してくださっているのではないか！今まで罪の位階の中を手探りで歩いてきた卑しい僕が、生ける真の神と共に、いのちの道光の永遠の道を歩かせていただくとは、何という光栄なことだろう。それから教会献身をし、次の年に神学院に導かれた。私にとって神学院は別世界であった。今まで仏像と祖先崇拜の中で育った私にとって、何もかもが驚きであった。ここに居られる方々は目に見えない神をあたかも見えるかのようにして祈り、賛美し、喜び仕えておられる。また授業の一つひとつが干からびた魂に命の水が注がれる思いだった。今までどれ程知りたかったことかを今、理路整然と解き明かしてくださった。神が人間に対して持つておられるプログラムを、すでに永遠に至るまで開陳されている。このご計画通りにすべてが動いている、スケールの大きさに感嘆を覚えざるを得なかった。私の人生の基礎はこの神学院において築いて頂いた。この神を述べ伝えずにおられようか！家族と共に助け合いながら元気に主に仕えられる幸いを心から感謝している。(単立鴨居キリスト教会)

同窓生の近況

49期生

水戸教会●坂下美栄子



背後にあつて、水戸教会のためにお祈り頂いておりますこと、心から感謝いたします。神学院に入学してから20年後に母教会に戻り、3年が経過しました。地元でありながら、自分が住んでいた時とは随分と様変わりをしており、初めは全く分からないところからのスタートでした。今は困難を覚えることなく過ごしております。水戸教会も、20年の間に変化していることもありすが、嬉しいことに教会学校に来ていた生徒たちが大人になり、教会の力になっております。紆余曲折あったようですが、居るべき場所に戻り、喜んで奉仕している姿を見ると、こちらも励まされ、教会のために尽力したいという祈りながら励んでいます。若い人たちの成長を願いながら、次世代を担う若い人たちが起こされ、救いに導かれるよう祈りながら戦っていきたくと思っています。引き続き、お祈り頂ければ感謝です。(1コリント一五・58)

神学院スタッフ…恵みの想起

尊いご奉仕に感謝

女子寮監 河村みち

「若い時の子どもたちは、実に勇士の手にある矢のようだ。幸いなことよ。矢筒をその矢で満たしている人は。」(詩篇一二七・4、5) 卒業式・年会を前に、巣立つてゆかれる方々が良き牧者として尊く用いられますように、祈りをもって労させていただきました。また、再び「年会を学院で」という夢が今年実現しようとしております。そこには背後で祈ってください方、また主への尊い献身の思いを持って労してください方々がおられることを覚えたいと思っております。台所の改修、本館の整備など願うところ、思うところを遥かに超えた良きご奉仕をいただきました。すべての受け入れは整いました。主が次代を担う器方を起こしてくださいますように。

学苑だより



- 年會準備が進むキャンパス
- 厨房の改修工事が始まりました。老朽化によるガス器具等の危険、衛生面の見直し、利便性も考慮し、ほぼ全面改修になります。
- 信徒の方々のご愛労によって本館の片づけが行われています。薦田二雄先生の遺品は整理した上で、貴重な資料性のあるものを中心に旧院長室に展示します。
- 宿舎として使用する本館2階は、トイレ改修、部屋はカーペットを張り替えます。ゴザ敷きではなく貸しベッドが検討されています。
- 70周年記念工事の最後としてペテルハウス前の土留め工事を行い、ペテルハウスは子どもさんをお持ちの家族部屋になります。
- 年會時にペテルハウスに宿泊の方は、商大側のペテルハウス門を入ってペテルハウス駐車場をご利用ください。20台駐車可です。
- 神学院祈り会は4日(火)です。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。12月の会計報告をさせていただきます。

12月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」
¥814,325
教会団体による「神学院献金」
¥561,120
合計 ¥1,375,445
その他の献金(一時・特別)
¥214,060

振替：00230-0-10138

公報

本部通達

「あなたは私の歩みを広げられ、私のくるぶしはゆるみません。」

(IIサムエル二二章37節)

教会総会を越えて各教会では教会年度の新たな進発がなされました。すべての計画と活動に主の導きと祝福をお祈り申し上げます。寒さと雪との戦いが厳しい各地域の諸教会を覚えつつ、主のみ助けをお祈りいたします。

■本部 (会議)

《第75次年会 準備祈禱会開催》

3日(月) 午後2時〜3時半 (OCC411会議室)

3日(月)〜4日(火)

拡大運営委員会(年会準備)

18日(火) 会計監査

(2019年決算書監査)

17日(月)〜18日(火)

神学委員会(神学部会/聖書部会)

《JHA関係》

18日(火) 東海聖化交友会総会

24日(月) 関東JHA評議員会

■総務局

《第75次年会の関連のお願い》

年会は、聖宣神学院で3月25日

(水) 午後1時半(必着)〜27日

(金) 午前11時半までの開催となります。

詳しくはチラシをご覧ください。

め切りは、今月18日(火)に本部

必着となっておりますので、各教

会を通じてお申し込みください。

なお、本部で行われている最終的な準備のため、前後の出入りのためにもお祈りください。

今回は信徒の方々のご協力をいただきながら、準備・運営のさまざまな係分担をお願いしております。

種々のご協力に感謝申し上げます。

例年通り、先生方には事前に年会資料を送付いたします。

がある場合は、3月16日(火)までに、本部・総務局長宛に書面にてお送りください(メール・FAXも可)。

▽「境内地 境内建物の登記簿本」の送付にいつもご協力いただいております。

会堂建設等で提出後に変更のありました教会は、速やかに最新のものを提出をお願いします。

把握しておく必要がありますので、ご協力をお願いします。

▽教団ドメインのメールアドレス @immanuel.or.jp / @igm21.com を使用の先生方で、新規登録や変更・廃止、メーリングリストの希望などがありましたら、本部総務局の佐藤信行師までご連絡ください。

▽毎月末に各教会宛に発送している定期の本部便に同封できる印刷物は、各教会宛2〜3枚までとなっています。

等の郵送は各部署で発送作業をお願い致します。

不明な点は総務局にお尋ねください。

▽単位法人格を持つ教会は、毎年

の法的義務として、毎会計年度終了後4か月以内(本教団の場合、通常4月末まで)に、宗教法人の事務所へ備え付けの書類の写しを、各都道府県所轄庁に提出するようお願いいたします。

この場合、事務所に備え付けの書類とは、役員名簿、財産目録、収支計算書・貸借対照表(作成している場合)、境内建物(財産目録に記載されているものを除く)に関する書類、事業に関する書類(行っている場合)となります。

提出の際、同じ写しを本部総務局宛にもご提出ください。

よろしく願います。

■国内教会局 (教区関連)

23日(日) 静岡教区女性大会

25日(火) 近畿教区女性牧師会

■世界宣教局

▽昨年行われた宣教コイン献金にご協力をいただきありがとうございます。

合計は昨年末までで1,756,576円でした。

引き続き献金をお受けいたしますので、「宣教コイン献金」と明記の上、ご送金をお願いします。

▽葛田緑乃宣教師(カンボジア)は昨年11月からのKCC(カンボジア・クリスチャン・コミュニティ)での活動を終え、先月中旬に無事、帰国されました。

▽宣教師の2020年巡回報告(申し込みは神栖教会、葛田敬子師まで)

*根廻恵子宣教師(ザンビア) 2020年、年会まで。

*豊田常喜、恭子宣教師(フィリ

ピン) 2020年4月〜8月。

(IWF関係)

▽2020年の宣教師たちの予定

*アンドレア宣教師 5月〜9月

短期報告のためアメリカ

*ロビン宣教師 7月以降にカナ

ダより再赴任の可能性

*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカ

*ブランドン宣教師は下関教会を中心に、ホーリー宣教師は首都圏を中心に活動しておられますが、奉仕依頼については直接、各宣教師にお問い合わせください。

▽宣教師を教会に招くために、IWF基金から交通費等の援助を希望する場合は、委員の梅田登志枝師までご連絡ください。

■教育局

(教育部・生涯学習課)

3月24日(火)夕〜25日(水)午前

若手牧師研修会

テーマ「牧師とセルフケア」

参加対象者に関して、BTC卒業後7年以内の教職試験の方々と共に、伝道師、定住伝道師の方々も対象としてお招きします。

(青少年部・中高生課)

3月24日(火)〜25日(水)

スタッフ・トレーニングキャンプ

(BTC、年会準備応援も含めて)

3月25日(水)夜・とにフェス

26日(木)午前 とにフェス

午後 聖会II(とにフェス)

講師II安藤理恵子師

とにキャンOB、青年及び一般参加も歓迎

(青少年課・教会学校課)

3月26日(木) 午前&午後

CS特別プログラムを準備中

■聖宣神学院

▽入学審査は3月2日(月)、出願は2月17日(月) 必着です。

受験を考えておられる方は本誌1月号掲載の「聖宣神学院入学案内」を読み、間違いのないように手続きを行ってください。

▽卒業式 3月13日(金) 午後1時30分開式。

▽年会受け入れ前のキャンパス整備については「学苑だより」をご参照ください。

▽ベテルハウスのお問い合わせ・利用申込みは、学務課・馬場姉まで。

▽神学院折り会は2月4日(火) 午後6時〜7時、本部会議室で行います。

▽BTC後援会推進委員会は2月18日(火) 午後6時から、本部会議室で行います。

3月26日(木) 午前&午後

CS特別プログラムを準備中

■聖宣神学院

▽入学審査は3月2日(月)、出願は2月17日(月) 必着です。

受験を考えておられる方は本誌1月号掲載の「聖宣神学院入学案内」を読み、間違いのないように手続きを行ってください。

▽卒業式 3月13日(金) 午後1時30分開式。

▽年会受け入れ前のキャンパス整備については「学苑だより」をご参照ください。

▽ベテルハウスのお問い合わせ・利用申込みは、学務課・馬場姉まで。

▽神学院折り会は2月4日(火) 午後6時〜7時、本部会議室で行います。

▽BTC後援会推進委員会は2月18日(火) 午後6時から、本部会議室で行います。

3月26日(木) 午前&午後

消息報告



▽葛田真理子師のお母様、高木やよひ師のお姉様、遠藤喜美子師(香川教会員)は、去る1月2日(木) 午後4時46分、81歳の生涯を終えて天に召されました。ご遺族に主の慰めをお祈りいたします。

▽長崎教会(坂田秀孝師)では2月24日に献堂式が執り行われます。司式は代表内山勝師です。主の祝福をお祈りいたします。

教報PDFパスワード#6747

新生宣教団 定価 一部110円(税込)

郵便振替 001107133609

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣

発行所 東京都千代田区神田駿河台一